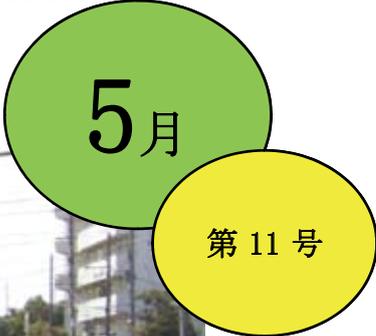




独立行政法人  
国立国際医療研究センター  
*National Center for Global Health and Medicine*

# 国府台

発行人 〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1  
国立国際医療研究センター国府台病院長 上村 直実  
TEL:047(372)3501 FAX:047(372)1858



## [真間川(ままがわ)]

新根本橋から江戸川方向の風景です。川の両岸は、昭和30年代に護岸改修される以前は桜並木が続く「桜土手」だったということです。現在でも桜が各所に残っており、とてもきれいな花を咲かせています。

## 目次

◇ 副院長が医療功労賞を受賞	.....	2
◇ 新医師の紹介	.....	4
◇ 地域医療連携病院紹介	.....	7
◇ 歯科外来の開設について	.....	7
◇ がん講演会	.....	8
◇ 職場紹介(診療放射線部)	.....	9
◇ 第2回NCGM-BLSコースを開催して	.....	9
◇ お花見(児童精神科病棟の行事)	.....	9
◇ 東日本大震災(関連ニュース)	.....	10
◇ 看護の日のイベント	.....	12
◇ 肝臓病教室	.....	12
◇ 放置自転車の整理	.....	13
◇ エコキャップ回収始めました	.....	13
◇ 栄養一口メモ・看護師募集	.....	14
◇ 編集だより	.....	15

\*ホームページでは、カラーでご覧になれます <http://www.ncgmkohnodai.go.jp>

塚田 和美 副院長が医療功労賞を受賞されました

# 医療功労賞

医療功労賞は、極めて困難な医療環境や地域の医療向上等に努め、長年にわたり医療に従事した者、及び海外等の医療・災害現場で献身的に職務に励んだ者の中から、特に顕著な功績を挙げた者を表彰するものです。

この「第39回医療功労賞」(読売新聞社主催、厚生労働省・日本テレビ放送網後援、エーザイ協賛)の千葉県表彰者に、塚田副院長の功績(24時間精神科救急開設)が認められ、めでたく受賞されました。表彰式は平成23年2月3日に千葉市内のホテルで行われました。

塚田副院長は、昭和63年に国府台病院に着任後、精神科の急患を24時間受け入れる先進的な精神科救急の開設に尽力され、その功績がここに認められたものです。現在、国府台病院では年間2000人を超す時間外救急の搬送を受け入れています。

また、平成15年には、米国のケースを参考に「ACT(包括型地域生活支援)」を全国で初めて導入するに至り、看護師らとチームにより重症者の巡回訪問が行われています。

2011年(平成23年)2月1日(火曜日)

千葉 2面 第1版

## 医療功労賞 県内から6人

【千葉新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援、エーザイ協賛】の受賞者が決まり、県内から6人が選ばれた。表彰式は3日午前11時半から、千葉市中央区のホテルプラザ伊勢の花で行われる。受賞者に喜びの面を伺った。

### 24時間の精神科救急開設

国立国際医療研究センター 国府台病院副院長  
塚田和美さん 59  
(市川市八幡)

千葉県立中央病院の1977年、精神科医として以来、患者の心のケアに力を尽くしてきた。民間病院勤務を経て08年、国府台病院に移り、先進医師らと、急患を24時間受け入れる先進的な精神科救急を開設し

「長年、地域に根ざして活動してきた医療関係者を表彰する」第39回医療功労賞(読売新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援、エーザイ協賛)の受賞者が決まり、県内から6人が選ばれた。表彰式は3日午前11時半から、千葉市中央区のホテルプラザ伊勢の花で行われる。受賞者に喜びの面を伺った。

えれば自殺など最悪の事態を招く状態にあった。そうした患者を助けた。1年で約2000人を超す時間外

患者が搬送され、「寝る暇もなく診察にあたった」と振り返る。

「医療を追究する職人でありたい」との思いから、2003年には、米国のケースを参考に「ACT(包括型地域生活支援)」を全国で初めて導入。看護師らとチームをつくり、重症患者の巡回訪問を行っている。都市部が乏しい市川市では自殺者も多く、「対策ネットワークを作りたい」と予防策にも取り組む。



賞状を受ける塚田副院長



受賞者と関係者



## 新医師の挨拶



### (循環器科医長 田中 由利子)

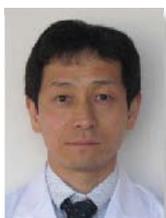
4月1日付で循環器科医長に着任しました田中由利子です。昨年度までセンター病院に勤務しながら週一日国府台病院へ来ていましたが、循環器医不在のこの病院で少しでもお役に立てるようにと考え常勤になりました。センター病院では心不全治療・心エコー検査・心臓カテーテル検査を中心に医療を行っていました。当院でも外来・兼診はもちろんのこと、心電図や心エコーの検査を中心に皆様のお役に立てればと思っておりますので、ぜひ気軽に声をかけて下さい。これから、皆さんと仕事を一緒にしていくと、少し心もとないと感じることもあると思いますが足りない分は愛嬌で補います(笑)ので、ご指導いただけますようよろしくお願いします。



### (第一内科医師 酒匂 赤人)

新宿の国立国際医療研究センターでの2年間の内科系研修と7年間の消化器内科勤務の後、公衆衛生大学院と国境なき医師団でのアフリカ派遣を経て、4月から内科医師として働き始めました。

消化器と内科全般の診療に加え、関心のある感染症、臨床栄養、国際協力、Public Healthなどにも関わっていきたくと考えています。



### (循環器科医師 一瀬 哲夫)

2011年4月1日より赴任して参りました。専門は虚血性心疾患、心臓超音波(経胸壁・経食道)等です。以前は順天堂大学循環器内科に在職しておりました。勤務を始めて1ヶ月、循環器疾患のニーズの高さを感じました。

皆様にお応えできるよう診療をおこなっていきたくと思いますのでよろしくお願いいたします。



### (整形外科医師 尾崎 純三)

4月から勤務しています整形外科の尾崎です。

市川市内の出身です。以前は千葉県内の匝瑳市(そうさし)で9年間、高齢者の外傷を中心に診療をしていました。

これからは、地元の皆様の健康づくりのお手伝いができるよう頑張りたいと思いますので宜しくお願いします。



### (歯科医師 友田 衣早佳)

本年4月より当院歯科に参りました友田衣早佳と申します。昨年度までは国立国際医療研究センター病院歯科口腔外科で勤務しており、このたび当院での歯科外来開設にあたりこちらに来ました。センター病院では一般歯科治療から口腔外科領域の様々な疾患の診療にあたってまいりました。診療にあたっては、なるべく患者様の不安や痛みをなくすよう丁寧な治療をこころがけております。皆さまのお役に立てるよう精進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



### (第一消化器科医師 尾上 淑子)

4月より、国立国際医療研究センター戸山病院より当院に異動して消化器科で働かせていただいております。研修医2年間で戸山病院で終え、その後同院の消化器科レジデントとして消化器一般の診断・治療について勉強しました。

わからないことばかりで、みなさまにはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。



### (麻酔科医師 石川 嘉昭)

本年4月より麻酔科に赴任しました麻酔科の石川です。全身管理・集中治療を学ぼうと麻酔科を専攻しましたが、主に集中治療よりも手術麻酔関係に従事して来ました。全身的な知見を深めるつもりで麻酔科を専攻した関係で内科診療などにも従事して来ましたので麻酔という枠に囚われず何かしらお役に立てたら幸いです。心臓麻酔を含め、虫垂切除術～移植術、口頭全摘術など東西数多くの施設で浅く広く経験してきましたので凡その事には対応出来るかと思いますが、何か御座いましたらご連絡下さい。今後とも宜しくお願い申し上げます。



#### (心療内科医師 本間 洋州)

本年4月1日より当院レジデントとして着任致しました本間洋州と申します。地元は新潟県新潟市、産業医科大学を卒業し、初期研修は松山赤十字病院と九州大学病院にてローテートして参りました。国府台病院の心療内科はかねてから「是非来てみたい！」と思う医療施設でありました。今回その一員として勤務できることとなったことを、心から嬉しく思います。まだまだ若輩者です。ご迷惑おかけするとは思いますが、ご指導よろしくお願いいたします。



#### (心療内科医師 山下 裕美子)

4月から心療内科後期レジデントとしてお世話になります山下裕美子と申します。自治医大で2年間の初期研修を終了した後、1年間内科研修を行いました。後期レジデントの研修を充実したものにできるよう頑張っていきたいと思っております。至らない点も多々あると思っておりますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



#### (心療内科医師 吉田 庸子)

4月より心療内科レジデントとして勤務させていただいております吉田庸子と申します。初期研修は新宿区戸山の国立国際医療研究センター病院で行わせていただきました。

まだまだ経験不足で勉強させていただくことばかりですが、精一杯努力させていただきますのでどうかよろしくお願い申し上げます。



#### (泌尿器科医師 足立 康久)

国府台病院で初期研修を終え4月から泌尿器科後期研修医となりました。外見の通り人生紆余曲折を経て、ようやくスタートラインから一步踏み出したといったところでしょうか。生まれは横浜ですが18で京都へ流れ、それからスイス、スコットランドで基礎研究(細胞周期)をしました。思うところあってドロップアウト。長崎へ拾われて医師を志しました。私事ではきついこともあります。市川ではウロの先生を始め多くの方々に支えられて充実した日々を送っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



#### (精神科医師 久岡 哲也)

国府台病院で2年間の初期研修を済ませ、4月1日より精神科レジデントとして着任いたしました久岡哲也と申します。以前から志望していた歴史と実績のある国府台病院の精神科レジデントに採用され、ますます張り切って職務に励みたいと思っております。

ご迷惑をかけることも多いと思っておりますが、これからもご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



#### (精神科医師 三浦 正史)

4月から精神科レジデントとして勤務しております、三浦正史と申します。初期研修では皆様に大変お世話になりました。早く一人前になって国府台病院に少しでも恩返ししたいと思っております。

まだまだご迷惑をかけることもあると思っておりますがよろしくお願い致します。



#### (児童精神科医師 佐々木 祥乃)

4月1日より児童精神科レジデントとして働かせていただくこととなりました佐々木祥乃(ササキ ヨシノリ)と申します。これまでは、京都府立医科大学附属病院精神神経科で精神科病棟業務、恒昭会藍野病院で認知症病棟業務、大津市民病院で心療内科外来と緩和ケア病棟に従事してきました。今は、子どものこころを専門的に診ている職場で働けることに喜びを感じている毎日です。もともと不器用なこともあり上手くやっけていけるか心配に思うこともありますが、子どもたちの成長を傍で感じつつ自分の成長につながれば…と考えております。医師としては5年目であり、まだまだ未熟な点も多いのですが一生懸命がんばりますので御指導御鞭撻の程、宜しく御願ひ申し上げます。



**(児童精神科医師 田中 徹哉)**

4月から、慶應義塾大学保健管理センター小児科より児童精神科レジデントとして着任いたしました田中徹哉と申します。卒業後慶應大学小児科に入局し、社会保険さいたま病院、慶應病院、保健管理センター等に勤務しておりました。

帰局後は、小児精神保健を専門としておりましたが、児童精神科は初めてなので、いろいろとご迷惑をおかけすることも多いかと思うのですが、何とぞ、よろしくお願いいたします。



**(児童精神科医師 田中 宏美)**

4月から児童精神科レジデントとして着任しました田中宏美と申します。

今までは、宮城県の県立精神医療センターで成人の精神科をやっていました。

児童精神科医としての第一歩をこの病院で迎えられることを本当に嬉しく思っています。

仕事に慣れないうちは何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。



**(児童精神科医師 原田 真生子)**

4月から児童精神科レジデントとしてお世話になっております原田真生子(はらだまいこ)と申します。初期臨床研修終了後は、山口大学医学部附属病院、山口県立総合医療センターなどの総合病院に勤務し成人の精神疾患の診療に携わっておりました。少ない経験のなかでも児童精神を専門にする医師が県内にいないということもあり、小児の診療を求められることも多かったのですが、知識も経験もなく、患者さまに対して申し訳なく思っておりました。この度、国府台病院での研修の機会を与您いただき大変ありがたく思っております。

ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、御指導のほどよろしくお願い申し上げます。



**(第一消化器医師 茶谷 成)**

4月1日に消化器科レジデントとして赴任いたしました茶谷成と申します。平成15年に三重大学を卒業し、その後広島大学第一外科に入局して関連病院で研修をしておりました。

このたび、内視鏡を含めた消化器診療の勉強をしたいと思い、当院にお世話になる事にさせていただきました。精一杯頑張っていきたいと考えておりますので、ご指導よろしくお願い致します。



**—会計窓口からのお知らせ—  
クレジットカードでの支払いが可能となりました**

**診療費のお支払い方法について**

現金による支払い、銀行振込みによる支払いに加えて、**クレジットカード**によるお支払いができるようになりました。詳細につきましては、会計⑤窓口にお問い合わせ下さい。

【クレジットカードによるお支払い】

会計⑤番窓口にてお申し出下さい。

！) ご利用になれるクレジットカードの種類は以下のとおりです。



## 地域医療連携病院のご紹介

医療法人あきつ会 鈴木医院  
院長 鈴木 雍人

宮久保で内科を開業しています。おかげさまで開業32年を迎えました。当初は現在のように救急診療の態勢が整っておらず、朝から夜中まで、そして、大人から乳児にいたるまで自分の専門以外でも診療を行い、まさに仕事の連続でした。当時は、まだ医師と患者さん(決して私は患者様とは言いません)との信頼関係が充分にできていたかに思えましたので、若輩の自分でも何とか勤めを果たすことができました。それにはいつも患者さんをお願いしたときには快くお引き受けくださり、ご指導いただいた国府台病院の先生方の協力があったからだと今更ながら感謝しております。



しかし、現在は患者さんの権利主張が強く、開業医も萎縮診療をせざるを得ない状態にあり、それがかえって患者さんに損失があるやに思えます。この難しい医療環境の中で我々の一番の仕事は患者さんの交通整理だと思っています。今後、さらに国府台病院の先生方のご援助を期待する次第です。数年前、病院の診療システムもスタッフも変わられ一時は面食らったこともありますが、幸い今や世界的権威のある先生方がおいでになり以前にも増して我々も大変心強く思っております。どうかよろしくお願ひいたします。

住 所 : 市川市宮久保3-4-20  
電 話 : 047-373-5555  
診療科目 : 内科  
予防接種 : 破傷風、ツベルクリン反応  
BCG、インフルエンザ  
肺炎球菌ワクチン  
各種検診 : 市川市が実施する特定健診  
肺がん検診  
大腸がん検診



## 歯科外来の開設について

—国府台病院では歯科外来をオープンしました—



国府台病院の歯科は、これまで入院中の患者さんを中心として診療を行ってまいりましたが、このたび歯科外来を開設し、一般の患者さんにも広く受診していただけるようになりました。

一般歯科治療はもとより、歯性感染症、智歯などの難抜歯、歯の外傷、口腔粘膜疾患、など顎口腔領域に発生する様々な疾患に対応しています。また、地域の開業歯科医院での治療が困難な基礎疾患を有する患者さんの歯科治療も、院内各科との密接な連携のもとに幅広く行っていく予定です。

また、新たに歯科衛生士も配置しておりますので、引き続き病院歯科として口腔ケアなど、院内各科の円滑な治療のお手伝いをさせていただきます。

「医学の一分野としての歯科」という視点で常に全身との関わりを念頭におき、日々研鑽をしておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

**初診 : 月・火・水・金(電話での予約制)**

※木曜日は再診予約のみ

※急患は時間内であれば随時対応いたします

**歯科医師:友田 衣早佳(ともだ いさか)**

九州大学歯学部卒業。同大学口腔外科入局後、国立国際医療研究センター病院歯科口腔外科を経て現職。

日本口腔外科学会認定専修医、  
臨床研修指導歯科医

**歯科衛生士:中山 千香(なかやま ちか)**

国立国際医療研究センター病院  
歯科口腔外科を経て現職。

日本口腔インプラント学会認定衛生士



市川保健所主催の「がん講演会」レポート



平成23年2月24日(木曜日)19時から21時まで市川市文化会館において「がん講演会」が開催されました。

この講演会は、市川保健所(市川健康福祉センター)の企画により開催されたものです。企画にあたっては保健所のご配慮により国府台病院の共催で開催させて頂くこととなり、千葉県医師会・市川市医師会・浦安市医師会・東京歯科大学市川総合病院、順天堂大学医学部附属浦安病院の後援により実施されたものです。

演者は、上村院長と溝上センター長のお二人が努めました。聴講対象者は、保健医療従事者、行政担当者、希望する一般市民となっておりましたが、講演内容は、時代背景と病気の発症・感染拡大・最新治療へと展開し、医療の専門家から一般市民まで興味を持つ分かりやすい内容で講演が行われました。



座長  
久保秀一保健所長



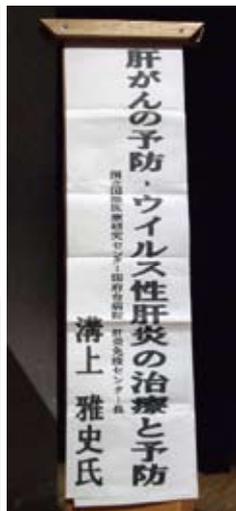
市川市文化会館小ホール



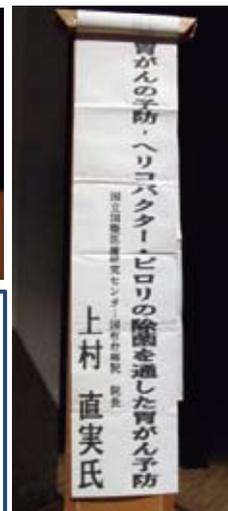
吉岡市川市医師会長  
挨拶



講演 1  
「肝がん予防」  
ウイルス性肝炎の  
治療と予防  
講師：肝炎免疫研究センター長  
溝上 雅史



講演 2  
「胃がんの予防」  
ヘリコバクター・ピロリの除菌を  
通した胃がん予防  
講師：国府台病院長  
上村 直実



溝上センター長から「肝臓の性質や特徴」、「肝臓の主な働き」、「ウイルス肝炎はどうして起こるのか」、「ウイルス感染から慢性肝炎・肝硬変・肝がんへのメカニズム」、「なぜ日本人に肝炎が多いのか」と話が展開され、そして、「遺伝子検査を用いたインターフェロン治療などの最新治療情報」、「国府台病院の肝炎治療と肝炎研究にかかる役割」について講演がありました。

上村国府台病院長からは、「Helicobacter pylori(ピロリ菌)の性質や特徴」、「ピロリ菌の検査方法」、「ピロリ菌が胃に及ぼす影響」、「ピロリ菌と胃がんとの関係」、「ピロリ菌の除菌治療と胃がん予防」、バリウム検診とピロリ菌抗体を加えたABCD法との有効性の比較」について講演がありました。

## 診療放射線部門の紹介

放射線診療部は、医師1名・診療放射線技師13名・受付事務1名の計15名で、X線撮影(レントゲン撮影)や透視造影検査、CT検査、MRI検査、核医学検査(RI検査)、骨密度測定検査の他、血管造影検査(カテーテル治療)や放射線治療(現在休止中)といった治療を行う分野等様々な内容に対応しています。

医療技術が進歩する中で使用する装置もたいへん高度で精密になり、診療分野の診断部門として重要な役割を担っています。また、地域医療連携として近隣医療施設からのCT・MRI・核医学検査の依頼を随時行っております。我々スタッフ一同、教育と人材育成に励み「安全と安心」ができる放射線検査・治療を提供できるよう日々努力しています。

何か不安なことがありましたらお気軽にご相談下さい。

副診療放射線技師長  
堀 延 壽



診療放射線部のスタッフ

## 第2回 NCGM-BLSコースを開催して



インストラクターの参加も、救急医学会認定のインストラクターに加え、前回のコースを受講した人も参加するなど、人に教えながら更に自分も学びを深めていくという姿が印象的でした。

今年度は、5月14日に第3回NCGM-BLSコースを開催し、以後、年内合計4回の開催を予定しています。既に受講した人達が、各自の職場の仲間を誘い合うなど「チーム国府台」が少しずつですが大きくなり始めています。

看護部教育担当看護師長  
田中 且子

本年、2月26日(土)当院全職員を対象にした第2回NCGM-BLSコースを開催しました。第1回目続く今回も、事務職員や薬剤師、臨床検査技師や理学療法士など看護師のみならず多職種が参加し、緊急時に備え半日のトレーニングを行いました。

緊張していた受講生たちの表情も、コースが開始されると次第に和やかな空気に包まれ、お互いが切磋琢磨しながら充実した半日を過ごしました。

## お花見 ～児童精神科病棟の行事～

児童精神科病棟では、治療の一環として様々な院外レクレーションを行っています。

去る4月6日(水)には、病院近くの里見公園にお花見に出掛けました。大災害の後ということで例年よりも花見客は少なく里見公園も自粛ムードではありましたが、今年の桜はとて綺麗でちょうど満開でした。

また、当日はとて暖かいポカポカ陽気で、気分もとても良く、公園を散策したり、スポーツをおもいっきり楽しんだり、お菓子を食べながら談話したりと、ゆっくりとした時間を楽しみました。

普段は、なかなか外で季節に触れる機会が少ない中で、春を十分に感じ、リフレッシュできた一日であったのではないかと思います。



児童精神科医師  
牧野 和紀



## 東日本大震災（関連ニュース）

東日本大震災におきまして、被害にあわれた皆様に心より お見舞い申し上げるとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。

### 【地震発生時の対応】

3月11日に東関東大震災が発生しました。国府台病院では、まず患者の避難を優先し外来患者さんを玄関前駐車場へ避難誘導、続いて各病棟毎に順次駐車場へ避難誘導しました。臨時の対策本部で避難情報の収集や指令を行い、各部門の活躍により事故も混乱もなく避難が出来ました。職種を問わず全職員が黙々と廊下の長いすを運び出し、防寒のための毛布を配布し、医療スタッフが患者さんの容態を確認して廻り、国府台病院の危機管理対応のすばらしさを感じました。そして、余震が落ち着き、気温も急激に下がってきた16時には避難を解除し患者さんを随時院内に誘導しました。当院の被害は、建物に一部クラックの発生、エレベータの停止、物の落下程度で致命的なダメージはありませんでした。

地震発生時の夜は、お見舞いの方々等で帰宅困難な方々（約20名）に毛布の提供をさせて頂きました。避難にあたりましては、寒い中、患者さんには大変ご迷惑をお掛けいたしました。



病院玄関前に避難誘導



職員駐車場へ避難誘導



椅子を駐車場へ運び出す職員



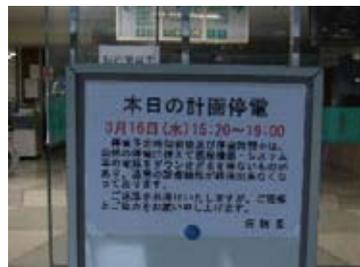
職員駐車場へ避難誘導

### 【計画停電への対応】

福島原子力発電所の停止に伴い、3月13日（日）に東京電力から発表された計画停電について、当院は第2グループに該当し、後の4月10日の計画停電「原則不実施」の発表までの間に6回実施されました。

〈停電発生6回の詳細〉

- ①3月16日（水）15:42～18:36
- ②3月17日（木）12:42～15:32
- ③3月18日（金）9:45～13:35
- ④3月22日（火）12:42～15:36
- ⑤3月25日（金）18:43～19:56
- ⑥3月28日（月）9:42～10:56



病院前の信号機も停電

計画停電中は、停電がなくても機器の故障防止及びや安全管理の上から停止せざるを得ない機器が多く、検査や手術等が出来ず通常の診療が行えませんでした。患者さんには、大変ご迷惑をお掛けしました。

4月10日の東京電力の発表により、計画停電は原則不実施となりましたが、引き続き節電に努力する必要があります。病院では日常から節電を心掛けておりますが、今後の夏場の冷房利用のピーク時に向けて、より一層の節電のご協力をお願いすることになりますが、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。

# 東日本大震災に対する国府台病院の医療支援活動

## 1. SCU(広域搬送の救護基地)活動状況

内閣府より東日本大震災に伴う被災者の医療救護目的でSCU(Staging Care Unit)設置の要請があり、重症者の空路搬送での受け入れを目的に羽田空港N地区第二格納庫地区にSCUが立ち上げられたが、その任務に当院の消化器科医師吉澤大が協力要請を受け、立ち上げの平成23年3月12日(土)から撤収の平成23年3月14日(月)まで医療活動を行いました。



羽田SCU

2011.3.14読売新聞より

## 2. 福島県への医師派遣福島県(白河市・相馬市)

3月11日の地震に東北新幹線内で被災した朝日茂樹外来診療部長は、新幹線乗客が収容された白河中央中学校内避難所に救護所開設し医療活動を開始、その後、白河市から要請を受け、山崩れ家屋倒壊で土砂に生き埋めとなっている被災現場等で消防、警察、自衛隊と共に活動をしました。その後、福島県の要請で公立相馬総合病院へ入り病院で医療活動、併せて身体障害者療養施設の入所者の県外搬送に携わり3月24日に帰院しました。

## 3. 医療チーム(心のケアチーム)の緊急派遣(宮城県石巻市周辺)

国府台病院医療チームは、宮城県の要請を受けて、3月21日から4月24日まで石巻赤十字病院を拠点として石巻市周辺の避難所を巡回する診療活動を実施しました。5月からは石巻市役所を起点として同地区の診療活動を実施し、以後も派遣を継続する計画です。

### 国府台病院緊急車両



- 第1陣 3月21日(月)～3月27日(日)  
精神科医(佐竹直子)、児童精神科医(宇佐美政英)、MSW(長竹教夫)、看護師(北内 力)
- 第2陣 4月 4日(月)～4月10日(日)  
精神科医(中島常夫)、児童精神科医(岩垂香貴)、MSW(山本啓太)、看護師(菅谷智一)
- 第3陣 4月18日(月)～4月24日(日)  
精神科医(安井玲子)児童精神科医(小平雅基)  
MSW(堀内 亮) 看護師(山集美蘭)
- 第4陣 5月 8日(日)～5月14日(土)  
精神科医(早川達郎)、児童精神科医(宇佐美政英)  
MSW(佃 宏美)、看護師(伊藤宏彰)
- 第5陣 5月22日(日)～5月28日(土)  
精神科医(佐竹直子)、児童精神科医(渡部京太)  
MSW(長竹教夫)、看護師(北内 力)

### 医療チームミーティング



### 活動地域

渡波地区(5避難所)・石巻地区(2避難所)・雄勝地区(4避難所)  
北上地区(3避難所)・河北地区(3避難所)・河南地区(2避難所)  
石巻市役所(職員メンタルヘルス)

## 4. NCGM医療チームへの参加(宮城県東松島市周辺)

国立国際医療センター(NCGM)では、センター病院職員を中心とした医療チームを3月17日より継続的に被災地へ派遣しています。

国府台病院は、当該医療チームへの協力する体制を執り、下記のとおり活動しています。

(国立国際医療研究センターHP…<http://www.ncgm.go.jp/kyokuhp/quake0311/index.html>)

- 18次隊 4月14日(木)～4月19日(火) 薬剤師(中里英人)
- 24次隊 4月24日(日)～4月29日(金) 薬剤師(桐原陽一)
- 25次隊 4月26日(火)～5月 1日(日) 心療内科医(石川俊男)
- 28次隊 5月 2日(月)～5月 7日(土) 心療内科医(田村奈穂)、薬剤師(高橋省三)
- 33次隊 5月14日(土)～5月19日(木) 薬剤師(牧山 稔)
- 35次隊 5月18日(水)～5月23日(月) 心療内科医(富田吉敏)
- 37次隊 5月24日(火)～5月29日(日) 薬剤師(白井 毅)

## 看護の日のイベント（ご案内）

### 看護の日イベント内容

テーマ：看護の心をみんなの心に  
—あたたかい看護を提供します—

日時：平成23年5月11日（水）  
11時00分～15時00分  
場所：国府台病院駐車場（正門入って左側）  
※雨の日は会議室となります。



#### 〈イベント内容〉

血圧測定コーナー、体脂肪測定  
コーナー、エコノミー症候群予防運動指導、ポスター展示など

どなたでも参加できますので、是非、お立ち寄り下さい。

## 第2回 肝臓病教室（ご案内）

### （お詫び）

3月12日（土）に予定していました肝臓病教室は、地震災害のため中止とさせていただきます。大変申し訳ございませんでした。

日時：6月25日（土曜日）14:00～16:00

場所：国立国際医療研究センター 国府台病院・旧看護学校2階

◇正門から入り、外来棟より更に奥の建物になります◇

14:00～14:05 「概要説明」

村田一素 肝炎・免疫研究センター・肝疾患先端治療室長

14:05～14:35 「B型肝炎の最近の話題」

伊藤清顕 肝炎・免疫研究センター・肝疾患先進医療研究室長

14:35～15:05 「肝疾患で入院したら、どんなことをされるの？」—看護の立場より—

平野真美 副看護師長・山下美枝子 看護師長

15:05～15:35 「ラジオ波焼灼療法：ここまでの肝臓最新療法」

今村雅俊 国府台病院 第二消化器科医長

※ 終了後に個別相談も行います（肝炎、肝硬変、肝癌を中心に）。

※ ご相談のある方は血液検査・CTなどの資料をお持ちいただくと、  
状態に応じた詳しい説明をお受けになれます。

お問い合わせ先：〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1

国立国際医療研究センター 国府台病院

肝炎・免疫研究センター 村田一素

TEL: 047-375-4757

★当院の肝炎・免疫研究センターは、肝疾患撲滅を目指して  
臨床・研究を行っている肝臓病専門のセンターです。  
県内外より肝臓専門医（計7名）が集結し、最新の肝臓疾患  
の診断・治療を行っています。



## 放置自転車の整理

管理課 管理専門職  
南雲 文明

### 放置自転車整理中

現在、病院では放置自転車の確認をしています。全ての自転車に赤タグを付けています。

お手数ですが、自転車等の持ち主の方は、赤タグを外して自転車等をご利用下さい。



本年2月18日(金)、事務部職員で院内の放置自転車及びオートバイの整理を行いました。

昨年12月16日(木)、まず所有者の有無を確認するため、院内のすべての自転車及びオートバイに赤いタグを取り付け、確認期間として約2ヶ月を設けて、その間に所有者の方には赤いタグを取り外していただくようご協力いただきました。

そして、院内環境整備日であった2月18日(金)の午後に、赤いタグの付いたままの放置自転車及びオートバイを事務部職員で集積しました。寒い風が吹く冷たい曇り空の日でしたが、職員駐車場の一角と車庫前に集積を終え、3月1日(火)には専門業者に全て引き取っていただきました。

今回処分した台数は、自転車108台、オートバイ1台でした。不用自転車の撤去により駐輪場もきれいサッパリ整理できました。

当院では、月に一度、金曜日の午後に「環境整備日」を設け、事務職員を中心に草刈り、屋外のごみ拾い、樹木伐採、窓ふき等を行っています。敷地が広いので、なかなか手の回らないところもありますが、今後も患者さんやご来院の皆様方に快適にご利用いただけるよう、環境整備に努めて参りたいと考えております。



## エコキャップ回収始めました

事務部長 佐々木 仁史

昨年12月末頃、ご意見箱に「病院でもキャップを集めたらどうか。」という意見がありました。そこで、当院の患者サービス委員会です承され1月末からキャップ収集箱を自動販売機の側に置かせていただきました。

ペットボトルのキャップ回収は、「NPO法人エコキャップ推進協会」を通じて発展途上国の子供達のワクチンを贈る運動に協力することになります。また、一般ゴミに混ぜて捨てるとCO2の発生源となり、埋め立て処分すると土壌汚染となり地球環境を破壊することになります。

回収を始めるにあたっては、「回収箱がごみ箱になってしまうのではないか」、「果たして集まるのか」心配でしたが、試行してみますと、回収箱にごみが入っているケースは殆どなく、1回目の回収(1ヶ月間)で4kg・1,600個と予想を上回る良い結果となり、回収運動を継続的に実施することと致しました。

800個で一人分のワクチン代(20円)ということですので、1ヶ月で2人分のワクチン代にしかならないのですが、今後も事務部を中心として地道にこの活動を継続して行きたいと考えております。

是非とも皆様方のご協力をお願い申し上げます。



キャップ回収

再資源化事業者へ売却

NPO法人世界の子供に  
ワクチンを日本委員会(JCV)

発展途上国へ

これで  
ワクチン二人分？

1ヶ月で1,600個回収



## 栄養一口メモ



### 【★☆☆☆】

和食、洋食、中華など多くの料理に使われ、彩りを良くしてくれる人参。ちょうど今頃に収穫をする「春夏人参」は甘く、やわらかく、生で食べてもおいしく召し上がれます。千葉県は「ベーターキャロット」を始めとするこの春夏人参の収穫量が全国トップクラスです。

人参にはβ-カロテンが多く含まれており、体の中でビタミンAに変わります。油と一緒に摂ることでより吸収力が良くなります。ビタミンAが不足すると、夜になると目が見えにくくなる夜盲症(いわゆる鳥目)になりやすいと言われ、他には感染に対する抵抗力が落ちたり、肌の乾燥、成長不良が挙げられます。

生の人参にはアスコルビナーゼというビタミンCを壊す酵素が含まれています。家庭で野菜ジュースを作る時は摂る直前に作る、加熱してからミキサーにかける、レモン汁と一緒に混ぜることでこの酵素の働きを弱めてくれます。

管理栄養士&野菜ソムリエ  
近藤 純子

### ●簡単おいしい知恵袋 人参しりしりー(沖縄料理)

- ① 人参1本を千六本の形にすりおろす(切る)。
- ② 油を引いたフライパンで人参を炒める。
- ③ 好みて豚肉やポークランチョンミート(SPAM)やツナ缶などを加える。
- ④ 好みて味付けする(コンソメ、塩・こしょう、和風だしとしょうゆやめんつゆなど)。
- ⑤ 更に溶き卵1~2個分を入れて軽く炒めても彩り良く仕上がります。

「しりしり」とは沖縄で「すりおろす道具」や「すりおろした食材」「すりおろすこと」を表す時の言葉です。春夏人参はやわらかいので皮をむかなくても良いでしょうし、気になるようであれば包丁の背でこそげ取るようにしても良いでしょう。人参が主役になれる料理です。



## 看護師を随時募集中

# 急募 看護師

“新病棟オープンに向けて看護師を増員する計画です”

☆常勤の看護師を募集しています。

☆チームワークの良い職場で働きますか。

♪ 復帰支援プログラムも充実しています

♫ まずは病院見学はいかがでしょう。

# 随時受け付けております。



4月1日新採用看護師です、よろしくお願いします。



☆新人研修☆  
看護技術演習の様子

勤務時間や給与等の処遇につきましては  
ご相談下さい。

連絡をお待ちしております。

連絡先(代表) TEL 047-372-3501

内線(PHS) 6301

担当 副看護部長 高橋

## 編集だより

編集長

### “「真間川（ままがわ）」をご紹介します

真間川は、市川市市川2丁目で江戸川から分かれ、原木（ばらき）で東京湾に注ぐ全長8.6kmの利根川水系の一級河川です。途中で少しだけ船橋市を通り過ぎますが大半は市川市内を流れています。真間川の流域は水田の減少による市街化と共に、度々起こった洪水の被害対策として支流の国分川分水路の掘削、川幅の拡幅、国分川調節池の設置などが行われてきました。拡幅工事で桜並木が一部伐採されたり、コンクリート護岸の設置で自然が失われましたが、川沿いに桜を植えたり護岸を葦で覆うなど、工夫が払われたということです。

明治時代、真間川は菅野付近（昭和学院あたり）の沼地と谷津の湧き水を集めたものを源流として、国分川と合流し江戸川へ流れていたようです。しかし、明治45年から大正8年にかけての真間川周辺の土地の耕地整理事業により、真間川は鬼越を通り東京湾へ流れるようになりました。実は、一本の川でありながら、河口が江戸川口と東京湾口と二つあり、途中で流れが逆転することもある全国でも珍しい川でもあるようです。根本橋あたりの水辺を見た限りでは流れは静止しており、どちらに流れても不思議ではないような状態ですが、江戸川の水位により流れが変わっているようです。豪雨の洪水時には江戸川本流の水位は急激に高くなり真間川や市街地の水は逃げ場をなくしてしまうため「根本排水機場」のポンプが活躍し水害を防いでいます。

戦前は、川はきれいで、泳いだりフナや鰻も捕れたそうです。戦後に川は汚れてきましたが市民による川の美化運動も続けられ、次第にきれいになっているようです。

川沿いは歩いたりサイクリングをしたり自然が多く、散策には最適です。新しい発見も期待できると思います。



★ 江戸川(左)と根本樋門・根本排水機場



★ 根本樋門



★ 入江橋方向

「根本樋門」で江戸川と真間川が繋がっていますが、上写真の右手に「根本排水機場」があり、台風などの大雨の時は洪水を防ぐため真間川の水をポンプで汲み上げて江戸川へ排水しています。



YahooJapan,(C)ZENRINより登載

外 来 診 療 担 当 医 師 一 覧 表

国立国際医療研究センター  
国府台病院

TEL 047-372-3501(代表)  
平成23年5月1日現在

診療科・曜日	月	火	水	木	金	
※6 内 科	内 科	吉川玲玖(総合) 増井良則(総合)  柳内秀勝(糖尿・内分泌) 吉澤篤人(呼吸器)【第3】 水谷友紀(呼吸器)【第2・4・5】 杉山温人(呼吸器)【第1】  森山純江(リウマチ・膠原病)  菊池 嘉(感染症) 【第2・4】午前のみ	足立洋希(総合) 森川博久(総合)  三島修一(糖尿・内分泌) 本田律子(糖尿・内分泌)  多田真奈美(腎臓疾患) 【第1・3】午前のみ  金子礼志(リウマチ・膠原病)  フットケア外来(糖尿・内分泌) 【第1・3】午後予約のみ	森山純江(総合) 津田尚法(総合)  三島修一(糖尿・内分泌) 濱崎秀崇(糖尿・内分泌)  増井良則(リウマチ・膠原病)	濱崎秀崇(総合)【第1・2・4・5】 田中 真(総合)【第3】 西村 崇(総合)  峯山智佳(糖尿・内分泌) 柳内秀勝(糖尿・内分泌) 足立康久(午後)(糖尿・内分泌) 放生雅章(呼吸器)  吉川玲玖(リウマチ・膠原病)  フットケア外来(糖尿・内分泌) 【第2・4】午後予約のみ	森川博久(総合)【第1・3・5】 津田尚法(総合)【第2・4】 酒匂赤人(総合)  三島修一(糖尿・内分泌)  水谷友紀(呼吸器)【第1・3・5】 竹田雄一郎(呼吸器)【第2】 小林信之(呼吸器)【第4】  金子礼志(リウマチ・膠原病)  三輪哲義(血液疾患) 【第2】午前のみ 萩原将太郎(血液疾患) 【第4】午前のみ
	消化器科	上村直実(一般) 西村 崇(一般)  正木尚彦(肝炎・肝臓)午前のみ 青木孝彦(肝炎・肝臓)	小飯塚仁彦(一般) 小林正典(一般)  溝上雅史(肝炎・肝臓) 村田一素(肝炎・肝臓)	吉澤 大(一般) 交替制(小林・西村・青木(洋))  松井哲平(肝炎・肝臓) 斎藤結昭(肝炎・肝臓)	矢田智之(一般) 青木洋一郎(一般)  今村雅俊(肝炎・肝臓) 正木尚彦(肝炎・肝臓)	小飯塚仁彦(一般) 尾上淑子(一般)  今村雅俊(肝炎・肝臓) 伊藤清顕(肝炎・肝臓)
	消化器科内視鏡	午前 午後	吉澤大・矢田智之	吉澤大・矢田智之	小飯塚仁彦・青木洋一郎・小林正典	小飯塚仁彦・吉澤大・小林正典
	消化器科腹部エコー	今村雅俊・小林正典	伊藤清顕・斎藤結昭・青木洋一郎			村田一素
	循環器科	一瀬哲夫	出雲和秀	黄 文 慧	(交代制) 岡崎 修・田守唯一 原 久男	(午前) 原 英彦(午後) 田中由利子
	心療内科	初診 再診	大川昭宏(午前)(予約制) 石川俊男 吉田庸子(午前) (午後) 奥見裕邦・菊部正広(隔週)	石川俊男・田村奈穂	田村奈穂(午前)(予約制) 知場奈津子 岩村康子(午後) 安藤哲也(隔週)	石川俊男(午後) 山下裕美子 田村奈穂
	神経内科	初診 再診	本田和弘(予約制) 本田和弘(午後・予約のみ) 竹内社介【第5】(午前・予約のみ)	休診	本田和弘(予約制) 本田和弘(午後・予約のみ)	本田和弘(予約制) 本田和弘(午後・予約のみ)
※3 外 科	外 科	遠藤大昌	休診	日野原千速 青柳信嘉(エコー) 青柳信嘉(内視鏡)(第1・3) 日野原千速	青柳信嘉 日野原千速(AMエコー)	
	消化器外科	遠藤大昌		日野原千速	青柳信嘉	
	肝臓・胆嚢・膵臓外科	遠藤大昌		日野原千速	青柳信嘉	
	乳腺外科	遠藤大昌		日野原千速	青柳信嘉	
	内視鏡外科	遠藤大昌		日野原千速	青柳信嘉	
	ヘルニア外来			日野原千速(12:00~15:30)		
	ストーマ外来(完全予約制)					
	脳神経外科	岡田 仁		香川賢司	岡田 仁(予約制)	岡田 仁
	整形外科	初診 再診		尾崎純三 新井 元	(隔週) 新井 元/尾崎純三	高澤 誠 高澤 誠
	皮膚科	佐久間正寛		佐久間正寛	佐久間正寛・東竹逸子	佐久間正寛
	泌尿器科	浅野桐子		加納英人	長濱克志	長濱克志
	眼科	初診 再診		山崎廣子 山崎廣子・柴 玉珠(予約制)	山崎廣子・柴 玉珠	山崎廣子・柴 玉珠
	養護外来				手術日	PM山崎廣子(第2・4 予約制)
	耳鼻咽喉科	原 治		原 治	原 治	原 治
麻酔・ペインクリニック科	休診	休診	休診	休診		
救急科	朝日茂樹	朝日茂樹	朝日茂樹	朝日茂樹		
※4 精 神 科	初診	第1・3・5曜日 第2・4曜日	中野知恵子 榎本哲郎	水田康彦 伊藤寿彦	安井玲子 中島常夫	
	再診	①診 ②診 ③診 ④診 ⑤診 ⑥診 ⑦診	安井玲子 伊藤寿彦 早川達郎 塚田和美	榎本哲郎 芦澤裕子 安井玲子 中島常夫	佐竹直子 吉田衣美 中野知恵子 早川達郎 水田康彦 水田康彦	
	特診(予約制)	AM精神科予診	精神科予診	精神科予診		
	睡眠障害専門外来(完全予約制)	PM芦澤裕子(再診)			PM早川達郎・芦澤裕子(初診)	
	初診	毎週金曜日 対象者 中学生(15歳)以下	電話予約(9:30~17:00)が必要		初診予約は12名/月まで。電話予約が必要 ※5	
	(予約制)再診	渡部京太・小平雅基・宇佐美政英 岩垂善貴・青木桃子	渡部京太・小平雅基・宇佐美政英 (午前) 牧野和紀 (午後) 藤喜子・飯島崇乃子	青藤万比古 (午前) 渡部京太・宇佐美政英 (午後) 田邊由・田中敬哉	青藤万比古・小平雅基・岩垂善貴 松田久実	
	放射線科	放射線診断 放射線治療	前田浩喜	前田浩喜	前田浩喜	
歯科	5/9~初診(予約制) 5/9~再診	友田衣早佳	友田衣早佳	友田衣早佳		

(注) 1. 外科及び整形外科の担当医は、手術などの都合で変更(交替)になる場合があります。

<p><b>* 初診受付時間：8時00分～11時</b>      <b>* 再診受付時間：8時00分～11時</b></p> <p>※1 心療内科：初診は完全予約制 電話受付時間は平日16～17時まで、又は平日心療内科外来窓口にて受付けます。 (心療内科外来に半年以上来院していない場合は、再診ではなく初診となります。)</p> <p>※2 神経内科：初診・再診ともに完全予約制 電話受付時間は平日16～17時 神経内科外来にて受付けます。</p> <p>※3 外科：ストーマ外来は完全予約制で外科外来窓口にて受付けます。</p> <p>※4 精神科：初診は1日4名迄 + 予約枠2名 <b>※お知らせ※：4月より、金曜日精神科初診受付は、休診となりました。</b></p> <p>※5 睡眠障害専門外来の初診予約受付は電話のみ(047-372-3501)、当月の予約は前の月の平日1日16時から受付けます。 (1日が土日祝日の場合は翌平日となります)</p> <p>※6 フットケア外来は完全予約制です。診察時間は14時45分～15時15分。診察場所は内科外来第1診察室になります。</p> <p>※7 歯科外来：5月9日より外来患者受付開始。初診は予約制で1日3名までです。</p>
--